

第1部 中学生のための進路案内

■このガイドを読まれる方へ

みなさんは、今、中学校卒業後の進路を真剣に考えていると思います。

小学校を卒業するときには、中学校に進学することが決まっていました。しかし、中学校卒業後の進路は、だれかが決めてくれるわけではありません。自分で選ばなければならないのです。高等学校などへ進学するのか、あるいは就職するのかといった、生まれて初めての大きな進路の選択です。いろいろ戸惑うこともあると思います。しかし、みなさんが、真剣に自分の進路を考えるならば、きっと自分にふさわしい選択ができると思います。

では、進路を選択するという事は、どんなことでしょうか。単にどこの学校へ入るとか、どこに就職するのかといったことを決めることではありません。自分の「生き方」を考えるということです。それは、「自分はこんな人生を送りたい、こんな仕事をしたい、こんな家庭を築きたい、こういうふうな社会のために役立ちたい、だからこの進路に進もう。」などと考えることではないでしょうか。

それを考える上で、みなさんのご家族や、身近な人たちからアドバイスをいただくのも大いに参考になると思います。また、本などで先人の「生き方」を知るのもいいと

思います。

山梨県では、県立高校の入学選抜は、全県一学区制になっていて、住んでいる地域にかかわらず県内全ての高等学校を受検することができます。みなさんの進路選択の幅は非常に広がっています。

多様な高等学校の中から進学先を選択することは、難しいかもしれません。しかし、高等学校の種類がたくさんあるということは、自分の「生き方」を考える上で、より適した学校が見つかるようになっているということでもあります。

この「山梨ハイスクールガイド」には、みなさんに知っておいてほしいことが簡潔に書いてあります。各高等学校の内容や入学検査についても、要点が分かるようになっています。進路を選択する上で大いに活用してください。また、もっと詳しい内容を知りたい場合には、高校説明会、各高校が作っている学校案内、体験入学、卒業生の話なども参考にしてください。

みなさんが、ご家族や先生方のアドバイスを受けながら、自分の意志で、自分の個性や適性に応じた、よりよい選択をされることを願っています。

I 先輩たちの進路について

先輩たちの中学卒業後の進路について、その移り変わりをみてみましょう。

〈中学校〉年度別進路別状況の推移（国立・公立・私立）

区分	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月
卒業生総数	8,087	8,024	7,768	7,561	7,319	7,158	7,099
進学者（高等学校等）	7,970	7,894	7,664	7,470	7,236	7,070	7,008
就職者	52	34	35	20	22	21	12
専修学校等入学者	11	20	8	14	13	18	12
無業者	53	73	56	53	42	47	67
その他	1	3	5	4	6	2	-
高校等進学率（%）	98.6	98.4	98.7	98.8	98.9	98.8	98.7

（注）進学率は現役進学率であり、就職進学者を含みます。

〈高等学校〉年度別進路別状況の推移（公立・私立、全日制・定時制）

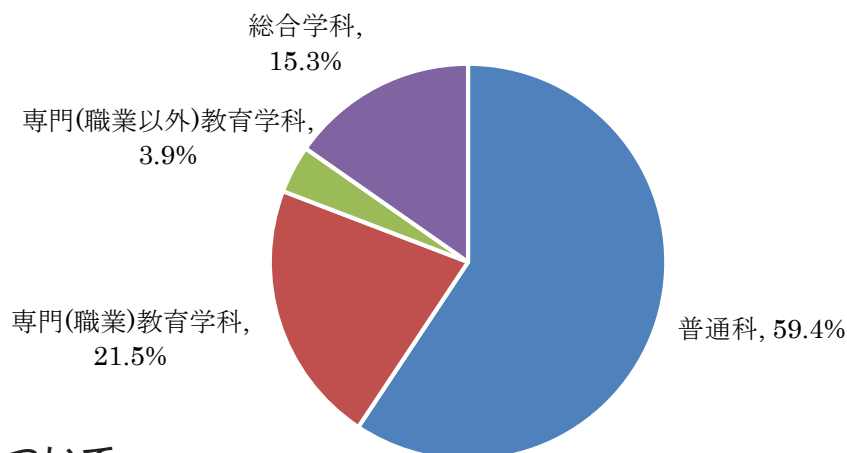
区分	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月
卒業生総数	8,595	8,229	8,341	8,010	7,888	7,727	7,541
進学者（大学、短大等）	4,844	4,685	4,770	4,444	4,497	4,536	4,513
就職者	1,468	1,372	1,387	1,330	1,340	1,144	1,080
専修学校等入学者	2,084	2,003	1,956	2,030	1,855	1,849	1,760
一時的な仕事に就いた者	30	38	26	35	26	23	22
無業者	169	125	202	170	167	173	164
その他	-	6	-	1	3	2	2
大学等進学率（%）	56.4	56.9	57.2	55.5	57.0	58.7	59.8

（注）進学率は大学や短大等への現役進学率であり、就職進学者を含みます。

令和5年3月卒業の先輩達

◆県内公立高校の普通科、職業教育を主とする専門学科、職業以外の専門教育を主とする専門教育学科（理数科、英語理数科、文理科、探究科）及び総合学科進学者の割合

[全日制のみ]



II 就職について

■自分に適した職業を選ぶにはどうしたらよいか

1 自分をよく知る

- ア 学業成績、学級活動、生徒会活動、部活動などを通して自分を知る。
- イ 職業適性検査、性格検査、教育相談（個別面談）などを通して自分の適性を知る。
- ウ 健康状態や運動能力の面から自分を知る。
- エ 家族の意見や考え方、家庭の状況などから自分の立場をしっかりと理解する。

2 選ぶとする職業をよく理解する

- ア その職業に就くには、どんな適性、どんな勉強・訓練が必要か。
- イ その職場の労働条件はどうか。（休日、勤務時間、衛生、危険有害作業など）
- ウ 初任給はどのくらいで、昇給はどうか。
- エ その職場の作業内容はどうか。（設備、作業工程など）
- オ その職業の将来性はどうか。（生涯の職業としてどうか）

以上のようなさまざまな観点から自分を知り、職業を研究して、総合的に考え、自分に向く方向、向かない方向を見定めて、最も適した職業を選ぶことが大切です。

◆中学校卒業者の就職について（就職進学者、専修学校進学者で就職者を含む。）

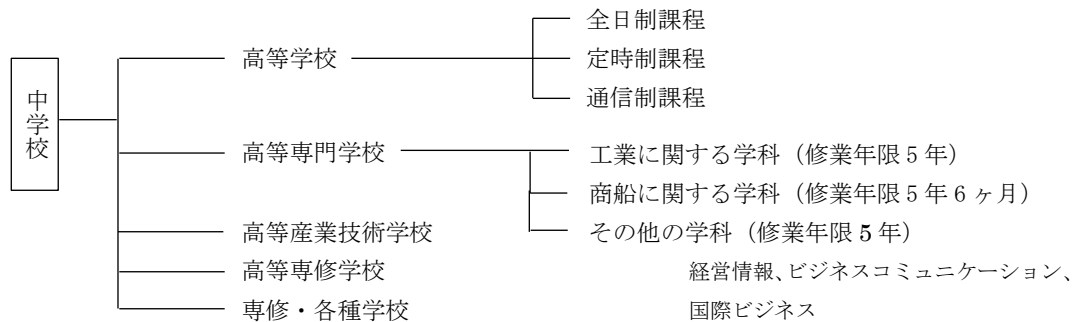
(単位：人)

地域 性別	県内							県外							計
	計	男	女	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	左記 以外	計	男	女	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	左記 以外	
平成28年3月	47	31	16	1	15	24	7	8	7	1	2	2	4	—	55
平成29年3月	26	20	6	—	10	13	3	8	7	1	—	6	2	—	34
平成30年3月	22	17	5	1	12	9	—	1	1	—	—	1	—	—	23
平成31年3月	12	6	6	—	4	8	—	3	1	2	—	—	—	3	15
令和2年3月	15	14	1	—	8	7	—	6	6	—	—	1	2	3	21
令和3年3月	14	12	2	1	5	7	1	2	1	1	—	1	1	—	16
令和4年3月	5	4	1	1	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	5

(注) 第1次産業 農業・林業・漁業など
 第2次産業 製造・建設・鉱業など
 第3次産業 商業・運輸・サービス業など

Ⅲ 進学にあたって

■ 中学校卒業後に進学できる学校



■ 高等学校の概要

1 高等学校で学ぶことから

- ・目的…中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育及び専門教育を施す。
- ・学習科目…必修科目…すべての生徒が共通して履修する。
…選択科目…生徒が個人の進路や興味関心に応じて選択して履修する。
- ・総合的な探究の時間…生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理・分析をする学習活動を行う。
- ・特別活動…「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」
〈目標〉 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
自主的、実践的な態度を育てる。
自己を生かす能力を養う。

2 山梨県の高等学校の課程及び学科

- ・課程による区分…全日制課程、定時制課程、通信制課程
- ・学年の有無による区分…学年制、単位制
- ・学習内容による区分…普通科、専門学科、総合学科

これらを表にまとめると次のようになります

	全日制課程	定時制課程	通信制課程
学年制	普通科 専門学科 (注 1)(注 2)	なし	なし
単位制	普通科(注 3) 総合学科(注 4) 専門学科(注 5)	普通科(注 6) 専門学科(注 7)	普通科(注 8) 専門学科(注 9)

- (注 1) 専門学科 (専門教育学科)
理数科、文理科、英語理数科、探究科
- (注 2) 専門学科 (職業に関する学科)
農業科、工業科、商業科、
美術デザイン科、音楽科
- (注 3) 甲府西高等学校、青洲高等学校、
日川高等学校、都留高等学校、
甲陵高等学校、山梨英和高等学校、
日本航空高等学校
- (注 4) 甲府城西高等学校、北杜高等学校、
富士北稜高等学校、笛吹高等学校、
上野原高等学校、身延高等学校
- (注 5) 青洲高等学校
- (注 6) 韮崎、巨摩、山梨、都留、中央、ひばりが丘
- (注 7) 中央、ひばりが丘、甲府工業
- (注 8) 中央高等学校、山梨英和高等学校
甲斐清和高等学校、駿台甲府高等学校、
山梨学院高等学校、日本航空高等学校、
自然学園高等学校
- (注 9) 中央高等学校、日本航空高等学校

3 高等学校と中学校の違い

①学習内容の高度化

高校では中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、より分化、高度化した教科・科目を学習します。

②卒業認定

各高校で定めている教科・科目を履修し、必要な単位数を修得するとともに、特別活動、総合的な探究の時間の学習活動の成果がその目標からみて満足と認められることが必要です。

◇履修：各教科・科目の授業を受けること。履修しなければならない教科・科目が指定されています。

◇修得：履修した結果、満足すべき成果を上げたことと認定されること。

◇単位：50分授業を35回受けたときの学習量を1単位の標準とします。

・学校外における学修等の単位認定

海外留学、学校間連携、技能審査の成果等が、一定の要件のもとで、卒業に必要な単位として認められます。

4 学年制と単位制の違い

- ①学年制…学年ごとに課程の修了の認定が行われ、1年ごとに進級の可否について判定が行われる。
- ②単位制…学年区分がなく、決められた単位を修得すれば卒業が認められ、自分の学習計画に基づいて、興味・関心に
応じた科目を選択し学習できるなどの特色がある。

5 普通科と専門学科の学習内容の違い

①普通科

各学科に共通する教科・科目を中心に学習し、一般教養を高め、将来の進路に必要な基礎的な能力を育成する。

②専門学科

本県には職業教育を主とする専門学科として農業科、工業科、商業科、衛生看護科が、普通科以外の普通教育を主とする専門学科として理数科、英語理数科、文理科、探究科、美術デザイン科、音楽科があり、主として専門学科において開設される各教科・科目を25単位以上履修し、実験や実習を中心に専門性を高める。

■高等学校の学科について

1 普通科

(1) 普通科の特色

将来の進路に合わせて、多様な科目を選択学習できる。卒業後の進路としては、大学や短期大学、専門学校等に進学する割合が高い。

○ 普通科を置く学校

県立	北杜、韮崎、甲府第一、甲府西（単位制）、甲府南、甲府東、甲府昭和、巨摩、白根、青洲（単位制）、 笛吹、日川（単位制）、山梨、塩山、都留（単位制）、都留興譲館、吉田、富士河口湖 [定時制]（単位制）：韮崎、巨摩、山梨、都留、中央、ひばりが丘
公立	甲陵（単位制）
私立	山梨英和（単位制）、身延山、甲斐清和、駿台甲府、山梨学院、東海大学附属甲府 日本航空（単位制）、日大明誠、帝京第三、富士学苑、自然学園

○ 各学科に共通する教科・科目(令和4年度入学生から新学習指導要領適用)

教科	科 目
国語	現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究
地理歴史	地理総合、地理探究、歴史総合、日本史探究、世界史探究、
公民	公共、倫理、政治・経済
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C
理科	科学と人間生活、物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学
保健体育	体育、保健
芸術	音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、音楽Ⅲ、美術Ⅰ、美術Ⅱ、美術Ⅲ、工芸Ⅰ、工芸Ⅱ、工芸Ⅲ、書道Ⅰ、書道Ⅱ、書道Ⅲ
外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
家庭	家庭基礎、家庭総合
情報	情報Ⅰ、情報Ⅱ
理数	理数探究基礎、理数探究
総合的な探究の時間	

○ 普通科の類型

- 1 学年……多くは、共通の科目を学習します。
 - 2・3 学年……興味・関心や進路希望等に合わせて、文系、理系などに分かれて学習します。選択科目の学習が多くなります。
-
- 文系………国語、地理歴史、公民、芸術、英語などを多く学習し、将来、文学部・法学部・経済学部など文系系大学、公務員等を希望する人に向く類型です。
 - 理系………数学、理科、英語などを多く学習し、将来、工学部・理学部・医学部・農学部など理系系大学を希望する人に向く類型です。

○ 卒業後の進路（令和4年3月卒業生）

- ・進学者（全日・定時）…大学等 73.6% 専修・各種等 18.7%
- ・就職者（全日・定時）5.2%

(2) 普通科に関するコース

- ・生徒の多様な実態（能力・適性、興味・関心等）に対応して、普通科に特色あるコースを設けています。
- ・1 学年から一般的な教科・科目のほかに、コースに関連した科目をより多く深く学習します。

○ コースを置く学校

学校名	コース名
北杜高等学校	理 数
甲府東高等学校	理 数
巨摩高等学校	理数創造
白根高等学校	文 理
山梨高等学校	英理総合
塩山高等学校	英 数

2 専門学科（職業教育を主とする）

人にはそれぞれ適性や個性があります。自分の興味・関心を育て、学習を通して個性を伸ばし、人として成長していくことは、変化の激しいこれからの社会で活躍していくために大切なことです。

職業に関する学科では、さまざまな学科・系列・コースが設けられ、一人ひとりの適性に応じた教育を行い、個人の特性を生かして将来、社会の持続的な発展に寄与する人間の育成をねらいとしています。

○ 充実した教育

- ・一人ひとりの興味や関心を育て、それぞれの特性を伸ばす教育をします。
- ・各学科に共通する教科・科目を学ぶとともに、職業教育を主とする専門学科において開設される各教科・科目を学ぶことを通じて、専門的な知識と技術を身につけ、社会に貢献し、常に学び続ける専門的職業人の育成を目指します。
- ・豊かな人間づくりを目指します。

(1) 農業科

—「6次産業化」で地域を支え、「持続可能な社会」を考える農業科—

- 国民の食糧生産と国土の緑化保全及び、バイオテクノロジーの活用、ヒューマンサービスの分野は、平和にして豊かな人間生活を営む基本です。国や県では農業系高等学校に学んだ人たちに大きな期待を寄せています。

本県の農業科は、峡中及び峡東の2地域に設置され、将来、本県農業の発展に貢献したい人たちが農業に関する各分野の技術者を目指す人たちが、地域農業の特性や学科の特色に基づいて必要な知識・技術の習得に励んでいます。

- 教育内容
 - 普通科目：国語・地理歴史・公民・数学
 - ・理科・保健体育・芸術・英語・家庭

専門科目：各学科の専門科目をご覧ください。

専門科目の学習は、実験・実習を中心として、基礎的、基本的な事項を体験的・体系的に学びます。



課題研究 四阿の制作プロジェクト

- 農業科を置く学校

県立	農林高等学校	システム園芸科・森林科学科・環境土木科・造園緑地科・食品科学科
	笛吹高等学校	食品化学科・果樹園芸科

- 農業科以外で農業科目が学習できる学校（総合学科）

県立	北杜高等学校	生物資源系列・環境工学系列
	笛吹高等学校	環境緑地系列

- 学校農業クラブ

農業クラブは、全国の農業系高校で組織される農業学習を主体的に進めることを目的とした生徒の活動組織です。

授業で農業分野の様々な課題解決に取り組むプロジェクト学習の実施と、その成果をまとめ発表するプロジェクト発表会、身近な課題や将来の抱負などを発表する意見発表会、チームで平板測量を行う平板測量競技会、農業の各分野に関する知識や技術の成果を競う農業鑑定競技会、収穫の喜びをともに分かち合い地域と協働する収穫祭やフェスタなど、農業系の特色ある学習活動を実施しています。また毎年、県・関東・全国大会が開催され、クラブ員同士の交流や、優れた学習活動の成果を発表し、全国の頂点を目指し競い合っています。

社会性・科学性・指導性を身に付けることを3大目標として活動します。



農業鑑定競技会県大会の様子

- 専門学校山梨県立農林大学校との教育交流

農林大学校と農業系高等学校では、高校生の視野を広げ進路に対する意識や学ぶ意欲を高めるため、教育交流を行っています。高校生が農林大学校の授業を学生とともに学ぶカリキュラム連携やプロジェクト研究の相互交流、技術者等による高校での実践的指導などを行っています。

- 山梨学院短期大学との包括連携協定

「食」に関する専門学科を有する農林高等学校・笛吹高等学校と栄養士及び製菓衛生師を養成する山梨学院短期大学が相互に連携し、それぞれが有する専門性や情報を共有・活用することで、それぞれの学校に所属する生徒・学生の専門的知識・技能・実践力の向上を図ること。また、それぞれが有する人的・物的資源を生かし、山梨県及び近隣地域の「食と健康」「食文化の向上」に貢献することを目的に連携活動を行っています。

- 卒業生の進路

- ・就職…各学科に関連した会社・官公庁に就職しています。土木建設・建築業、造園業、食品製造・流通業等の中堅技術者として企業からの要請があります。県内が約95%で、多くの人が自宅から通勤できる職場に就職しています。

- ・進学…県内外の国公立大学・短大・各種学校に進学しています。農業高校からの推薦入学を受け入れている大学があります。
- ・自営…卒業後、直ちに果樹・野菜・草花等の専業経営に入る者と、さらに専門学校山梨県立農林大学校や農業関係大学等を卒業してから自営する者に分かれます。

○ 各学科の概要

【果樹園芸科】

果樹栽培や園芸の知識と技術を習得し、峡東地域の基幹産業である果樹園芸を担う人材を育成します。また実践的に学んだ知識、技術に思考判断を重ね他者と関わりながら課題解決に向けた手法を習得し、職業人社会人としての資質や能力の向上を図ります。

□ 専門科目

農業と環境・農業と情報・課題研究・地域資源活用・果樹・野菜・草花・植物バイオテクノロジー・生物活用・農業経営



シャインマスカット台湾輸出版売実習(台北)



異校種間連携授業(笛吹市一宮中学校)



GAP シンポジウムでの発表(東京農業大学)

【システム園芸科】

草花・野菜・果樹を中心に、園芸植物や施設園芸についての基礎・基本的な栽培技術を習得すると共に、先端技術である植物バイオテクノロジーや情報技術を体系的に取り入れ、園芸技術者として、時代の変化に対応できる幅広い資質を身につけていきます。またキャリア教育の推進も図ります。

□ 専門科目

農業と環境・農業と情報・課題研究・植物バイオテクノロジー・農業経営・果樹・野菜・草花・生物活用・地域資源活用・インターンシップ・園芸デザイン・地域と農業・アグリビジネス



園児との交流

【食品化学科】

食品の加工、栄養分析、微生物の利用、流通などの知識と技術を習得し、食品産業を担う人材を育成します。

□ 専門科目

農業と環境・農業と情報・課題研究・食品製造・食品化学・食品微生物・食品流通・ワイン製造・食品科学概論・製菓製パン・栄養化学・発酵化学



食品製造実習

【食品科学科】

将来、食品産業に貢献できる人材を育成するため、食品の加工や成分分析、食品微生物や食品衛生の技術に関する学習を実験・実習をとおして行います。

□ 専門科目

農業と環境・農業と情報・総合実習・課題研究・食品製造・食品化学・食品微生物・インターンシップ・食品科学・食品衛生・食品流通

【森林科学科】

森林の育成と保護、木材をはじめとする様々な森林資源の活用方法、樹木の生態や森林を取り巻く地域環境の保全についての知識と技術を、実体験をとおして学ぶことにより、それらの業務に従事する技術者として必要な能力と態度を育てます。

□ 専門科目

農業と環境・総合実習・測量・森林科学・ウッドイークラフト・森林経営・課題研究・農業と情報・森林土木・インターンシップ・林産物利用



高性能林業機械研修

【環境土木科】

地球にやさしい環境づくりを目指し、農業生産基盤や生活環境の改善など、自然と調和した新しい土木技術を探究し、設計・施工・測量を主体的に学習することにより、環境土木技術者として必要な能力と態度を育てます。

□ 専門科目

農業と環境・農業と情報・総合実習・課題研究・環境土木計画・測量・農業土木設計・農業土木施工・インターンシップ・水循環・応用測量・水文水利・材料施工



トラバース測量実習

【造園緑地科】

造園及び環境緑化の計画・設計・施工・管理や自然環境の保全・保護・調査などに関する知識や技術を習得させ、環境づくりのエキスパートとして必要な能力と態度を育てます。

□ 専門科目

農業と環境・総合実習・造園計画・測量・造園植栽・課題研究・農業と情報・樹木治療学・インターンシップ・ガーデニング基礎・造園施工管理・剪定技術



資格取得（小型車両系建設機械・3t未満）

○ 各種の職業資格取得のための機会と援助が準備されています

毒物劇物取扱責任者、危険物取扱者、クレーン玉掛け技能講習、車輛系建設機械運転技能者、日本農業技術検定、測量士補、ガス溶接技能者、アーク溶接技能者、トレース技能検定、建設機械技能者、高所作業車運転特別教育、大型特殊自動車運転免許、土木施工管理技術検定、造園技能士検定、造園施工管理技術検定、情報処理技能検定、簿記検定、計算技術検定、園芸装飾技能検定、フラワー装飾技能検定 等

(2) 工業科

—ものづくりを通じて地域を支え、社会の持続的発展を担う工業科—

- 工業科では、ものづくりを通じて、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成します。
- 本県の工業科には、県内の産業の特色に応じた学科、系列が設けられています。工業科の特徴は、工業技術に関する知識を学ぶだけでなく、実践的・体験的な実習や実験を通して技術・技能を確実に習得し、変化する社会に応じて専門性を高め続けていく力を身に付けられることにあります。

○ 工業科を置く学校

県 立	韮崎工業高等学校	電子機械科、電気科、情報技術科、環境化学科、システム工学科、制御工学科
	甲府工業高等学校	機械科、電気科、電子科、建築科、土木科、専攻科創造工学科 注1
	〃 定時制	機械科、電気科、建築科、専攻科建築科 注2
	青洲高等学校	機械工学科、土木工学科
	都留興譲館高等学校	機械工学科、電子工学科、制御工学科、環境工学科

注1 注2 専攻科は高等学校卒業後に入学可

○ 工業科以外で工業科目が学習できる学校（総合学科）

県 立	甲府城西高等学校	メカトロニクス系列、エレクトロニクス系列
	富士北稜高等学校	電気情報系列、機械テクノロジー系列、建築デザイン系列

○ 教育内容

各学科とも、普通科目と各学科の専門科目を学習します。

- ・普通科目：国語・地理歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・英語・家庭
- ・各学科共通に学習する専門科目：工業技術基礎・課題研究

○ 各学科の概要

【機械系（機械科、電子機械科、機械工学科）】

機械の設計の基礎となる理論や製図、各種工作機械による製品製作、加工や溶接、組立、検査、電子技術、工業生産システム等に関する知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

① 専門科目（学科独自の科目）

機械工作、機械設計、原動機、機械製図、電子機械、自動車工学 など

② 卒業後の進路

各種製造会社、官公庁、サービス関連企業、電気・電子機器製造会社、大学進学 など

③ 取得できる資格

溶接技能者、ボイラー技士、車両系建設機械運転技能者、クレーン玉掛け取扱者、危険物取扱者、電気工事士、情報処理技術者、技能士（機械加工・機械検査・一般熱処理）、QC検定 など



溶接実習

【電気・電子系（電気科、電子科、電子工学科）】

電気・電子に関する基礎となる理論や電気回路・電子計測技術等を学習し、発電所や送配電、電動機、変圧器、通信機器、テレビやコンピュータなどの知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
電気回路、電気機器、電力技術、電子技術、電子回路、通信技術、電子計測制御、など
- ② 卒業後の進路
電気・電子機器製造会社、電力会社、ネットワーク関係の企業、官公庁、電気工事業、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
電気主任技術者、電気工事士、ITパスポート、工事担任者(デジタル通信、アナログ通信)、技能士（電子機器組立、電気機器組立）、陸上特殊無線技士、QC検定など



電子実習

【情報系（情報技術科）】

電子回路に関する学習やコンピュータの構成・利用技術、プログラミング、電子制御回路などハードウェアとソフトウェアの知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
プログラミング技術、ハードウェア技術、ソフトウェア技術、電子回路、電子技術 など
- ② 卒業後の進路
電子機器製造会社、電力会社、情報サービス関係、ネットワーク関係の企業、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
ITパスポート、陸上特殊無線技士、工事担任者(デジタル通信、アナログ通信)、パソコン検定、ワープロ検定、QC検定、ウェブデザイン技能検定など



コンピュータ実習

【建築系（建築科）】

住宅から高層建築まで様々な建築物を設計するために必要な理論及び構造、工法、材料などについての知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
建築構造、建築施工、建築構造設計、建築計画、建築法規 など
- ② 卒業後の進路
建設会社、工務店、建築設計事務所、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
2級建築施工管理技術検定、初級CAD検定、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター、レタリング検定、技能検定(建築大工2・3級、家具製作3級、鉄筋施工3級)、2級建築士(卒業後受験) など



木材加工実習

【土木系（土木科、土木工学科）】

道路、鉄道、河川、橋梁、ダム、トンネル、上下水道などを施工するための建設業務や、快適な生活環境づくりに関する知識や技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
測量、土木施工、土木基盤力学、土木構造設計、社会基盤工学 など
- ② 卒業後の進路
建設会社、官公庁、公団、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
測量士、測量士補、土木施工管理技士、車輛系建設機械運転技能者、クレーン玉掛け取扱者、下水道管理技術者、火薬類取扱保安責任者、QC検定 など



測量実習

【化学系（環境化学科）】

化学工業は、現代の生活や産業を支える石油・薬品・合成繊維などの素材をつくり出しています。その化学工業を工業生産に関連付けさせるための知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
工業化学、化学工学、地球環境化学 など
- ② 卒業後の進路
石油関連企業、医薬品メーカー、化学・食品会社、公害防止関係企業、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
毒物劇物取扱責任者、危険物取扱者、公害防止管理者、火薬類取扱保安責任者、消防設備士、酸素欠乏危険作業主任者、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者、有機溶剤作業主任者、QC検定 など



走査電子顕微鏡実習

【システム工学科】

ものづくりに必要とされる機械技術・電気技術・自動車に利用されている技術や、新エネルギー技術、環境保全に係る技術など、工業の様々な分野の先進技術に関連する知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
製図、原動機、自動車整備、自動車工学 など
- ② 卒業後の進路
自動車製造メーカー、自動車整備工場、新エネルギー開発関連企業、薬品製造会社、金属材料加工関連会社、貴金属製造会社、電子機器製造メーカー など
- ③ 取得できる資格
危険物取扱者、ボイラー技士、アーク溶接技能講習、ガス溶接技能講習、車輛系建設機械運転技能者、クレーン玉掛け取扱者、技能士（機械加工、電気機器組立）、QC検定 など

【制御工学科】

機械の自動化システムやメカトロニクス、ロボット制御などの知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。等の学習を行います。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
電気回路、電子回路、電子計測制御、機械工作、機械設計、電子機械 など
- ② 卒業後の主な進路
各種製造会社、電気・電子機器製造会社、ネットワーク関連企業、電力関係会社、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
技能士（電子機器組立、電気機器組立、機械加工、機械検査、一般熱処理）、メカトロニクス技術認定試験、家電製品アドバイザー、QC検定 など

【環境工学科】

環境に関する様々な学習や地域と連携した環境学習を通して、エネルギー、材料、分析、建設等に関する知識と技術を学び、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けます。

- ① 専門科目（学科独自の科目）
工業環境技術、工業化学、地球環境化学、社会基盤工学、測量、土木施工
- ② 卒業後の主な進路
公害防止関係企業、建設会社、化学系会社、官公庁、大学進学 など
- ③ 取得できる資格
危険物取扱者、有機溶剤作業主任者、火薬類取扱保安責任者、土木施工管理技士、測量士補、各種建設機械運転技能士、QC検定 など



コンクリート実習

(3) 商業科

—chance! challenge! change! 変化の激しい時代に対応していく人材を育成する商業科—

商業科では、次の教育内容にある4つの分野を学習します。専門科目の基礎的科目であるビジネス基礎は、全員が学習します。ビジネス全般の活動やビジネスに関する業種・職種についても学びます。そういった学習を通じて、自分自身の興味や関心の強い科目を選択し、より専門的な学びを目指します。また、社会に出てから必要とされる様々な資質や能力を身につけ、視野の広い豊かで調和の取れた人づくりをねらいとしています。商業の科目は座学が中心の授業になりますが、選択する科目によっては、地域や企業との連携など学校外での実務に近い学習活動が活発に行われており、毎年開催される生徒商業研究発表大会では、そういった学習活動の発表が行われています。

この他、学校によってはビジネスに関するさまざまな外部コンテスト（ビジネスアイデア、フードグランプリ、株式の模擬取引など）への参加をとおり、ビジネスや経済を深く学ぶための取り組みも活発になっています。

○ 教育内容（令和5年度入学生）

商業科では、普通科目を2、商業に関する専門科目を1の割合で学習します。

分野	科目	基礎的科目	総合的科目	
マーケティング分野	マーケティング	ビジネス基礎 ビジネス・コミュニケーション	課題研究	
	商品開発と流通			
	観光ビジネス			
マネジメント分野	ビジネス・マネジメント			総合実践
	グローバル経済			
	ビジネス法規			
会計分野	簿記			
	財務会計Ⅰ			
	財務会計Ⅱ			
	原価計算			
ビジネス情報分野	管理会計			
	情報処理			
	ソフトウェア活用			
	プログラミング			
	ネットワーク活用			
	ネットワーク管理			



販売実習



開発商品



生徒商業研究発表大会

○ 商業科目が学習できる学校

	商業の学科がある学校	商業系列・コースがある学校
県立	青洲高校	北杜高校 総合学科・総合情報ビジネス系列 甲府城西高校 総合学科・ビジネス会計系列、情報管理系列 笛吹高校 総合学科・情報・観光系列 富士北稜高校 総合学科・総合ビジネス系列
	塩山高校	
	中央高校（定時制）	
	ひばりが丘高校（定時制）	
市立	甲府商業高校 商業科、情報処理科	
私立		甲斐清和高校 普通科総合コース・商業クラス

○ 進路

・進学

令和4年度3月に商業関係高校を卒業した生徒のうち約62%が進学をしました。進学者内訳として、四年制大学は約25%、短大は約7%、専門学校は約68%でした。進学した主な学部又は学科は、四年制大学では経営学部、経済学部、商学部、経営情報学部など、短大では経済・情報、保育、栄養、家政、看護、語学などの学科です。

大学の経営学部や経済学部などへの進学については、推薦入学枠により、合格率は普通科高校生にひけをとらず、職業の資格取得は高い評価を得ています。また、現在は多くの国公立・私立大学で、受験科目の社会や数学の代わりに簿記などの商業科目で受験できる制度が設けられています。

・就職

令和4年度3月に商業科を卒業した生徒のうち約32%が就職をしました。主な就職先は、卸・小売業、サービス業、運輸・通信業、製造業、金融保険業などの各企業や官公庁における販売、サービス、製造、事務などさまざまな職種にわたっています。

○ 取得できる資格

全国商業高等学校協会や日本商工会議所などが行う各種検定試験や民間団体が主催するビジネス系の検定など、各学校によって取得できる検定が異なります。

- ・商業経済検定 ・ビジネス文書実務検定 ・ビジネス計算実務検定 ・情報処理検定
- ・簿記実務検定 ・ビジネスコミュニケーション検定 ・財務諸表分析検定 ・財務会計検定 ・管理会計検定
- ・英語検定（以上全商検定）
- ・秘書技能検定 ・日商簿記検定 ・日商販売士検定 ・基本情報技術者 ・ITパスポート など

○ 各学科の概要

山梨県の商業系の高校は様々な科や系列が存在しますが、大きく3つに分けられます。

【商業系学科】… 商業科、ビジネス探究科、ビジネス会計系列

主に商業や経済の基本的なしくみや知識を学習し、ビジネス活動について必要な事務処理能力を養います。また、情報機器などの利用技術を身につけ、産業の各分野にわたり活躍できる人材を育てます。

【情報系学科】… 情報処理科、情報ビジネス科、ビジネス情報科、情報管理系列

主に情報処理に関する基本的な知識と技術を学習し、ビジネス活動に必要な情報管理能力を養います。コンピュータの利用方法や、IT化をはじめ産業社会における高度情報処理の進展にも対応できる知識と技術を学習し、企業や地域の情報化推進に活躍する情報処理のエキスパートを育てます。

【複合系学科】… 情報経理科、総合情報ビジネス系列、情報・観光系列、総合ビジネス系列

情報処理に関する分野及び簿記会計や経済に関する分野について幅広く学習します。自身の選択科目次第でより専門的に学ぶこともできます。企業や地域のあらゆる場面で活躍する人を育てます。



授業風景

(4) 衛生看護科

- 衛生看護科を置く学校

県立	中央高等学校（通信制）
----	-------------

中央高校の衛生看護科は、甲府看護専門学校の准看護学科に合格または在籍・卒業していることが条件になります。看護に関わる専門科目等を甲府看護専門学校で2年間学びながら、普通教科の科目を3年間中央高校で学んで高等学校卒業の資格を取得します。

- 受験資格

准看護学科の卒業年次に准看護師の受験資格が得られます。准看護師試験に合格し、さらに中央高校通信制を卒業すると看護専門学校の医療専門課程（2年間の学修で看護師国家試験受験資格が得られます。）への受験資格が得られます。なお、衛生看護科を卒業すれば、下図の高校（総合学科・普通科・専門学科）と同様の進路も可能です。

- この道に進む人

看護の仕事は、人間愛と自己の英知を十分に発揮できる職業です。そのためには、医療技術に対する理解力・判断力、そして何よりも、看護に従事する職業人として誠意あるやさしい心の持ち主であることが必要です。

資格取得までの道のり

	1	2	3	4	5	6	7年
中学校	高校(普通科、総合学科、専門学科)		看護専門学校(医療専門課程) B		看護短大専攻科 保健師・助産師 学科 C		
			看護短大 B		看護大学 B・C		
	中央高校 通信制 衛生看護科 + 甲府看護専門学校 准看護学科 A		看護専門学校 (医療専門課程) B		看護短大専攻科 保健師・助産師 学科 C		
	准看護学校 A		病(医)院勤務		看護専門学校(医療専門課程) B		

A=准看護師試験（知事試験） B=看護師試験（国家試験） C=保健師試験又は助産師試験（国家試験）

教育内容

高等学校 普通科目	+	<table border="1"> <tr> <td>専門科目</td> <td>基礎看護 人体の構造と機能 成人看護 精神看護 母性看護 看護臨地実習</td> </tr> </table>	専門科目	基礎看護 人体の構造と機能 成人看護 精神看護 母性看護 看護臨地実習	+	特別活動
専門科目	基礎看護 人体の構造と機能 成人看護 精神看護 母性看護 看護臨地実習					

3 専門教育学科（普通科以外の普通教育を主とする）

(1) 理数科

自然科学の分野に強い興味や関心を持ち、数学や理科の学習をより深く実践的に学びたい生徒を対象に、教科横断的（STEAM 型）授業を取り入れ、実験や実習の時間を多くとることによって、思考力や分析力さらに問題解決能力の育成に努めています。

日々の学習において、ものごとを科学的に考察したり論理的に説明したりする能力を高めるとともに、自然科学を研究するうえで重要な、課題発見力や解決能力を身に付けるような教育を行う専門教育学科です。

○ 理数科を置く学校

県立	甲府南高等学校 吉田高等学校
----	----------------



課題研究の実験

○ 教育内容

理数科では、理科や数学の学習を重視しています。また、数学・理科の基本的事項をしっかり身に付けるとともに、実験・実習や演習及び課題研究によって、基礎知識の活用能力や、論理的な推論力、プレゼンテーション能力等を身につけることを目指します。また、豊かな人間性を育むために幅広い教養を身に付けることも重視し、国語や地理歴史、公民及び英語といった文系の科目についても十分な単位数を設定し、深い学びが実現する授業を展開しています

○ 進路状況

在学生は、より高いレベルの学習環境を求め、志望大学に進学することを目標に日々努力を継続しています。卒業生の多くは4年制大学に進学し、医歯薬系学部や理・工系学部などの理系学部、法学部や経済学部などの高い論理性の活かせる文系学部で学び、社会で活躍しています。

(2) 英語理数科

理科や数学に強い興味・関心を持ち、その学習に相応の能力・適正を持った生徒を対象に、理数科の科目履修を基軸とした実践的な英語力の育成を図ることにより、高い英語活用能力に加え科学的思考力を備えた人材の育成を目指します。

または、語学や国際社会・国際文化などに強い興味・関心を持ち、その学習に相応の能力・適正を持った生徒を対象に、理数科の科目履修を基軸とした論理的思考力を養うとともに、英語科の専門科目履修を加えることにより、高い英語活用能力を用いて国際社会に貢献できる人材の育成を目指します。

○ 英語理数科を置く学校

県立	都留興譲館高等学校
----	-----------

○ 教育内容

科学的思考力や論理的思考力をつけるため、数学・理科の専門科目の基本的事項を全員が学びます。理系は、さらに数学・理科を深く学ぶことで科学的応用力を養うとともに、高い英語活用能力を育み、国際社会で活躍できる能力育成のための学習を行います。文系は、語学や国際社会・国際文化などについて深く学び、幅広く高い教養を身につけるとともに、数理の基本に裏付けされた科学的分析力と柔軟な思考力を育み、国際社会で活躍できる能力育成のための学習を行います。

○ 進路状況

3年間を見通したきめ細やかな進路指導計画に基づき、文系・理系双方の進学希望に応じたカリキュラムを設定しています。多くの生徒が、国公立・難関私立大学をはじめとする4年制大学に進学し、英語理数科で身に付けた国際感覚と知性を強みに、様々な分野で活躍しています。

(3) 文理科

理科・数学あるいは英語・地理歴史・公民に強い興味・関心を持ち、その能力を伸ばしたいと希望する生徒を対象に、基礎学力を養成し、文系又は理系の分野について探究します。さらに、科学的思考力や情報化・国際化に対応する能力も養成し、将来さまざまな分野で活躍できる人材を育成することを目的とした専門教育学科です。

○ 文理科を置く学校

県立	韮崎高等学校
----	--------



ポスターを使ったプレゼンテーション

○ 教育内容

これからの社会で文系・理系を問わず必要とされる科学的・分析的思考力や素養を養成します。具体的には、グループ課題研究を軸にした探究活動やディスカッションを通し、論理的思考力コミュニケーション力、プレゼンテーション力を養成します。

1年次に自分の適性を見極め、2年次から文系・理系に分かれます。理系では、基礎知識とその活用を深く学び、実験・実習を通して科学的分析力・応用力を育てる科目を選択履修できます。文系では、英語や地理歴史・公民をより深く学び、幅広い教養と論理的思考力を養成し、国際社会に貢献できる能力を育てるための学習をします。

○ 進路状況

理学部・工学部・医学部等の理系の大学及び文学部・法学部・経済学部等の文系の大学へ進学し、活躍しています。

(4) 探究科

人文・社会科学から自然科学の分野まで幅広く各自が設定した課題の解決を目指して、情報を収集、整理・分析しながらまとめる探究活動を通じて、論理的思考力や国際的視野の育成を目指します。

○ 探究科を置く学校

県立	甲府第一高等学校
----	----------

○ 教育内容

探究科では、週に2時間「グローバル探究」の授業で、「なぜ？」という素朴な疑問について、グループで様々な角度から探究することで各教科の学習内容を強化し、これからの社会に必要とされる基礎力、思考力、実践力を育みます。また、常に世界に目を向けながら、これからの山梨、日本そして世界をつくる、社会に貢献できる人材の育成を目指します。本年度より、文部科学省の『WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業』に指定され、国内外の学校や大学、企業等、産学官民のコンソーシアム（共同事業体）を組織してより国際色豊かな活動を目指していきます。



研修旅行での交流風景

○ 進路状況

探究科の生徒は、探究活動を通して教科の学習にも自ら積極的に取り組むようになります。文系も理系も国公立大学や難関私立大学への進学を目指しており、卒業生の多くは、その目標を実現しています。

(5) 美術デザイン科

美術デザイン科では、美術系大学や短大だけでなく、専門学科で学んだ技能を生かすことのできる、さまざまな進路に対応できるカリキュラムを編成しています。週当たりの美術の授業は8～10時間あり、基礎的な技能の習得はもちろん、Macを活用し業界標準のグラフィックソフトの最新版(Adobe Creative Cloud)を導入し、デジタルアートの作品制作にも挑戦します。

○ 美術デザイン科を置く学校

私立	駿台甲府高等学校
----	----------

○ 教育内容

1年…さまざまな材料体験を通し、基本的な技術、考え方を学び、表現力の幅を広げます。

2年…基礎的な技能をもとに、想像力を養い、広げます。適性に応じて絵画系・デザイン系の選択課題を学習します。

3年…進路に応じたコース編成となります。油絵、日本画、グラフィックデザイン、工業デザイン、デジタルアート等、志望分野に応じ、きめ細かな個別指導を行います。

(6) 音楽科

音大・教育大学進学コース／保育幼児教育コース／ポピュラー作曲コース／音楽総合コースに分かれそれぞれ将来の目的に合わせた細やかなカリキュラムを実施しています。音楽実技は個人レッスン、専門科目は少人数での習熟度別授業を実施し、個々に合わせた実力を高めることができます。

○ 音楽科を置く学校

私立	甲斐清和高等学校
----	----------

○ 教育内容

1年…一般教科と音楽専門教科共に基礎力を高め、音楽的技術と感性を磨きます。

2年…様々な学習・演奏活動を通して高い技術と知識、豊かな表現力を身につけます。

3年…将来の職業を見据えた進路選択と確実な受験指導を行います。

(7) 航空科

航空関連の仕事に就くためには、航空業界のことはもちろん、空港の仕組みや航空機に関する幅広い専門知識が必要です。実習授業を通じて経験を積み、机上で学んだことの理解を更に深め、将来への礎とします。3年間を通して幅広い学習を総合的に行い、航空関連の仕事を知り、志をより具体的にして夢の実現に向けた基礎的学習を行います。

○ 航空科を置く学校

私立	日本航空高等学校
----	----------

○ 教育内容

日本で唯一の航空科であり、キャビンアテンダントやグラウンドスタッフを目指すキャビンアテンダントコースがあります。日本はもとより、海外留学生も多数在籍して学校生活を送っているため、インターナショナルな雰囲気があります。また、10ヵ国、50都市で2週間～1年間で語学留学が可能です。併設する日本航空大学校には更に細分化された専門的分野の学科が用意されており、高大一貫教育により夢を実現します。

4 総合学科

○ 特徴

総合学科とは、生徒自らの適性或進路などに応じた主体的な学習計画に基づいて、幅広く開設された普通科目と専門科目の中から選択して学習できる学科です。

本県には、総合学科を置く高校として北杜高校、甲府城西高校、笛吹高校、身延高校、上野原高校、富士北稜高校があります。そのうち、上野原高校と身延高校は普通科の科目を中心に学ぶことができる、多様な科目群を配置する総合学科です。

総合学科では、すべての生徒が学習する必修科目のほかに、総合学科特有の原則履修科目である「産業社会と人間」を全員が学びます。また選択科目は、専門科目を多く学習できることで普通科と異なり、専門科目を25単位以上学習する義務がないことで専門学科と異なります。また、生徒の進路に合わせた主体的な学習を支援するため、学習の方向性或系統性を考えて、内容的につながりのある科目を配置した自然科学、人文科学、情報、福祉などの「系列」や「科目群」を選択の目安として示します。

1科目ごとに単位を修得し、在学中に決められた単位を修得すれば卒業が認められ、自分の学びたい科目を自分なりの学習計画で学べるしくみ(単位制)を採用しています。

高校生活を通じて、社会の変化に柔軟に対応できる思考力、判断力、創造力を身に付け、それぞれの目標の実現を図ることを目指しています。

○ 総合学科を置く高校

県立	北杜高等学校	甲府城西高等学校	身延高等学校
	笛吹高等学校	上野原高等学校	富士北稜高等学校

○ 各校の系列・科目群

北杜高等学校

生物資源系列
環境工学系列
総合情報ビジネス系列
福祉ライフデザイン系列

甲府城西高等学校

人文社会系列
自然科学系列
スポーツ健康系列
福祉生活科学系列
メカトロニクス系列
エレクトロニクス系列
ビジネス会計系列
情報管理系列

身延高等学校

理数科学科目群
人文社会科目群
福祉健康科目群
文化情報科目群

笛吹高等学校

環境緑地系列
情報・観光系列
国際文化系列
人間科学系列 (スポーツ科学コース) (生活福祉コース)

上野原高等学校

人文語学科目群
社会国際科目群
理工科目群
福祉健康科目群
芸術服飾科目群
情報メディア科目群

富士北稜高等学校

教養系列
福祉健康系列
総合ビジネス系列
機械テクノロジー系列
電気情報系列
建築デザイン系列

5 定時制・通信制課程

(1) 定時制

もともとは、働きながら学びたい人のための高等学校でしたが、時代とともに移り変わり、現在では、「中学校までに不登校を経験している」「他の高校からの転入学・編入学（中途退学経験者）を希望する」「過去に高等学校教育を受ける機会がなかった」などの理由がある人などの学ぶ場となっています。学び直しの機会の提供、自分のペースで学べる多様な学習スタイルを可能としています。

卒業まで原則4年間が必要ですが、昼夜併修や定通併修などによって必要な単位を修得すれば、3年で卒業できることも可能です。



授業風景

○ 定時制課程を置く学校

県立	普通科	葦崎高等学校（注1）、巨摩高等学校、山梨高等学校、都留高等学校 中央高等学校（注2）、ひばりが丘高等学校（注3）
	情報経理科	中央高等学校（注2）、ひばりが丘高等学校（注3）
	機械科・電気科・建築科	甲府工業高等学校（注4）

（注1）昼間定時制で、午前部と午後部があります。

（注2）普通科は午前部、午後部、夜間部があります。情報経理科は午後部と夜間部があります。

（注3）普通科は昼間部と夜間部、情報経理科は昼間部のみとなります。

（注4）入学者選抜検査は工業科として一括で募集し、1年次後期から各学科に分かれて専門科目を学びます。

○ 教育内容

- ・全日制と同じ内容を、原則4年で学習します。生徒の興味や生活の実態に即して、各教科の基礎的な内容を重点的に、勤労と学習を両立させながら、学んだことが無理なく身につくよう指導します。
- ・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動や放課後の部活動も盛んで、定通制の県総合体育大会、生活体験発表大会、文化作品展示、県芸術文化祭定通部門、全国大会等が行われ、学校生活を一層豊かで思い出深いものにしていきます。

○ 進路状況

就職する人、進学する人、在学中の職業を続ける人など様々です。就職は県内就職、進学は専修・各種学校への進学の割合が高いです。

○ 特典（条件有り）

- ・夜間定時制では給食または補食が実施され、費用については、県の補助もあります。
- ・教科書の無償配付、修学奨励金等の制度があります。

(2) 通信制

家庭、職場の関係や身体の都合などで、毎日通学して授業を受けることのできない人のための高等学校です。（毎日登校して学習することを目的とする登校型を設置する学校もあります。）

普通科、衛生看護科、航空科があります。

普通科と航空科は、中学校を卒業した人（見込みを含む）で熱意があれば受検し入学できます。衛生看護科は、甲府看護専門学校准看護学科への入学許可予定者若しくは在籍者若しくは卒業者である必要があります。3年以上在学して必要な単位を修得すると、高等学校卒業の資格が得られます。



授業風景

○ 通信制課程を置く学校（県内を拠点）

県立	普通科	中央高等学校
	衛生看護科	
私立	普通科	駿台甲府高等学校 日本航空高等学校 自然学園高等学校 甲斐清和高等学校 山梨学院高等学校 山梨英和高等学校
	航空科	日本航空高等学校

○ 教育内容（中央高等学校の例）

- ・職場や家庭で、自分の能力や時間に合わせ、学校の定めた進度に従って学びます。
- ・学習の成果は、レポートにまとめて学校に送り、添削指導を受けるとともに、ほぼ月2～3回の面接指導（スクーリング）に出席して指導を受けます。
- ・ひばりが丘高等学校の教室を利用した面接指導（分室スクーリング）があります。（令和5年度 4回実施予定）
- ・前期、中期、後期試験が設定され、レポートの進捗状況によりテストを受け、評価が行われます。
- ・面接指導日にはホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動もあり、さらに遠足、定通制の県総合体育大会、生活体験発表大会、文化作品展示、県芸術文化祭定通部門、学園祭など学校生活を楽しく彩る行事や活動もあります。

○ 進路状況

- ・就職をする人、在学中の職業を続ける人、大学、短大、各種専修学校へ進学する人など様々です。

○ 特典（各規程・条件有り）

- ・教科書・学習書が無償給付される制度があります。
- ・(財)山梨みどり奨学会奨学金等の貸与制度があります。
- ・レポート提出の郵便料金は割引となります。
- ・スクーリングのために登下校する際の「JR回数券」は、5割引きとなります。
- ・高等学校卒業程度認定試験等の合格科目を、一定の条件により単位認定します。

（参考）専修・各種学校

職業や日常生活に必要な専門的知識や技術を身につけ、自分の興味・関心に基づいた学習を進め、教養の向上をはかり、人生を豊かなものにしたいと希望する人に適しています。

中学校卒業者が入学できるのは、次のとおりです。

① 高等課程を設置する専修学校

県内では次の学校です。

分野	学校名	郵便番号	住所	電話番号
医療	甲府看護専門学校（准看護学科）	400-0026	甲府市塩部 3-1-4	055-254-3300

② 各種学校

県内には、文化・教養、商業実務、服飾、料理等の分野の学校があります。詳しく知りたい方は、下記に照会するか、各校にお問い合わせください。

「一般社団法人 山梨県専修学校各種学校協会」事務局

〒400-0857 甲府市幸町 18-12

専門学校甲府医療秘書学院内

TEL・FAX 055-235-8861

または 専門学校甲府医療秘書学院

TEL 055-232-8541

- 准看護師養成課程等を置く学校

私立	甲府看護専門学校（准看護学科）
----	-----------------

- 特色・特典

- ・ 中学校卒業以上の学歴で2年間の学修をし、准看護師試験の受験資格が得られます。
- ・ 中学校卒業者は県立中央高校の衛生看護科生として、本校で修得した単位が認められます。

【教育目的】

看護を実践するために必要な、専門知識・専門技術を修得し、豊かな人間性を養い、地域の人々の健康と福祉に貢献できる准看護師を育成する。

【教育目標】

1. 人間を総合的に理解し、自己他者ともに人間として尊重できる能力を養う。
2. 専門職業人としての姿勢と倫理観を養う。
3. 専門知識・専門技術を統合し、地域の人々へ看護を実践する能力を養う。
4. 援助過程を用いた問題解決能力を養う。
5. 保健・医療・福祉チームの中で、協働・調整する能力を養う。
6. 専門職業人として、学習力を備え、自己研鑽できる能力を養う。

【授業形態】

月曜日～金曜日（週5日）
 講義 13時10分～16時20分
 （但し、金曜日の講義は9時～16時20分）
 臨地実習 8時30分～15時30分
 （但し、施設によってはこの限りではない）

【休業日】

土曜日、日曜日、国民の祝日
 季節（春・夏・冬）休業日、創立記念日（10月26日）

【取得できる資格及び特典】

1. 准看護師試験の受験資格
 甲府看護専門学校准看護学科を卒業後、准看護師試験を受験し、合格した者は准看護師の資格を取得できます。
2. 看護師学校（2年課程）の受験資格
 (1) 県立中央高等学校（通信制衛生看護科）との技能連携制度により、高等学校卒業資格を得られ、看護師学校（2年課程）の受験資格を取得できます
 (2) 中学卒業者は、准看護師の資格取得後、病院等で准看護師として3年以上業務に従事することで看護師学校（2年課程）の受験資格を取得できます

【高等学校等就学支援金】

高等学校等就学支援金の対象校となっています。

【修学・奨学金貸与制度】

1. 山梨県看護職員修学資金制度
2. (財)山梨みどり奨学会 奨学金制度

教育課程

教育内容		時間
基礎分野	論理的思考の基礎	35
	人間と生活・社会 1	35
	人間と生活・社会 2	35
	小計	105
専門基礎分野	人体のしくみと働き	140
	栄養	35
	薬理	70
	疾病の成り立ち	70
	感染と予防	35
	保健医療福祉のしくみ	35
	看護と法律	
小計	385	
専門分野	基礎看護	
	看護概論	70
	基礎看護技術	245
	臨床看護総論	70
	成人看護	210
	老年看護	
	母子看護	70
	精神看護	70
	小計	735
臨地実習	臨地実習	
	基礎看護	210
	成人看護	385
	老年看護	
	母子看護	70
	精神看護	70
小計	735	
総合計		1960

参考資料

○公立高等学校の授業料等

		入学審査料	入学料	授業料
県立	全日制	2,200	5,650	9,900/月
	定時制	950	2,100	1,620/単位
	通信制		500	310/単位
甲府商業高校		2,200	5,650	9,900/月
甲陵高校		3,000	5,650	9,900/月

授業料は、原則有償となっています。ただし、就学支援金の認定を受ければ徴収されません。

なお、修学旅行の積立金や生徒会費などは別途徴収されます。詳しくは、各高校の事務室にお問い合わせ下さい。

○奨学金制度

[公益財団法人 山梨みどり奨学会 奨学金]

保護者の住所が県内にあり、資質に優れながらも経済的理由により、修学が困難な高等学校等の生徒に対し奨学金の貸与を行う。

1. 予約採用

中学校（特別支援学校中等部を含む。）の第3学年に在学し、高等学校等進学後に奨学金の貸与を希望する生徒を対象に募集を行う。

<募集期間>

9月～10月

<申込先>

在学中学校

2. 在学者採用

高等学校等進学後、1の「予約採用」と同趣旨の募集を行う。

<募集期間>

4月～5月

<申込先>

在学高等学校 等

3. 貸与月額

<国公立高校等に通う生徒>

自宅通学者 18,000円

自宅外通学者 23,000円

<私立高校等に通う生徒>

自宅通学者 30,000円

自宅外通学者 35,000円

4. 提出書類

申込書・確認書・証明書 等

5. 返還方法

貸与終了後6ヶ月据置、月賦により9～12年で返還

<問い合わせ先>

公益財団法人 山梨みどり奨学会
山梨県教育委員会高校教育課内
電話 055-223-1852

[高校生等奨学給付金]

授業料以外の教育費負担の軽減を目的として、年に1度、低所得世帯の生徒に対して奨学のための給付金を支給する制度です。返還の必要はありません。

1. 対象となる世帯

令和5年7月1日現在、次のア)、イ)、ウ) 全てに該当する世帯

ア) 保護者等が山梨県内に住所を有すること。

イ) 高校生等が「高等学校等就学支援金」の支給対象校に在学していること。

ウ) 生活保護法による「生業扶助」が行われていること、または 支給年度の保護者等全員の市町村民税所得割が非課税であること。

2. 生徒一人当たりの給付額（年額）

ア) 生活保護受給世帯

公立 32,300円

私立 52,600円

イ) 高校生等以外に15歳以上23歳未満の子の扶養されている兄弟姉妹がいない場合

公立 114,100円（通信制の場合は50,500円）

私立 134,600円（通信制の場合は52,100円）

ウ) 保護者が高校生等以外に15歳以上23歳未満の兄弟姉妹を扶養している世帯で第2子以降の場合

公立 143,700円（通信制の場合は50,500円）

私立 152,000円（通信制の場合は52,100円）

申請方法、支給方法等の制度の詳細な内容につきましては、各高等学校等の事務室または下記連絡先にお問い合わせください。

<問い合わせ先>

・各高等学校等の事務室

・公立高等学校：山梨県教育委員会高校教育課
電話 055-223-1769

・私立高等学校：山梨県県民生活部私学・科学振興課
電話 055-223-1322

[定時制通信制修学奨励金]

県内の定時制又は通信制高校に在学し、経済的理由により修学が困難な生徒に修学奨励金の貸付を行う。

〈貸与月額〉

14,000 円

〈提出書類〉

修学奨励金貸付願、収入に関する証明書等

〈申込先〉

各高等学校

〈貸与期間〉

48 か月以内

〈返還免除〉

定時制・通信制の課程を卒業した場合は、返還が免除されます。

〈問い合わせ先〉

山梨県教育委員会高校教育課

電話 055-223-1769

[母子父子寡婦福祉資金]

ひとり親家庭等の生徒が就学するために必要な経費を貸し付けます（父母のいない生徒も対象になります）。

[就学支度資金]（無利子）

〈貸付限度額〉

- ・ 公立高校に入学する生徒
 - 自宅通学者 150,000 円
 - 自宅外通学者 160,000 円
- ・ 私立高校に入学する生徒
 - 自宅通学者 410,000 円
 - 自宅外通学者 420,000 円

〈返還方法〉

卒業後 6 ヶ月据置で 5 年以内に返還

〈申込期間〉

入学月の翌月まで（特別の事由がある場合には、翌々月まで）

[修学資金]（無利子）

〈貸付限度額〉

- ・ 公立高校に通う生徒
 - 自宅通学者 27,000 円（月額）
 - 自宅外通学者 34,500 円（月額）
- ・ 私立高校に通う生徒
 - 自宅通学者 45,000 円（月額）
 - 自宅外通学者 52,500 円（月額）

〈返還方法〉

卒業後 6 ヶ月据置で 10 年以内に返還（専修学校一般課程は、5 年以内に償還）

〈申込期間〉

随時

〈申込先・問い合わせ先〉

お住まいの地域の県保健福祉事務所 福祉課

中北:0551-23-3443 峡東:0553-20-2750

峡南:0556-22-8145 富士・東部:0555-24-9047

※甲府市にお住まいの方は、甲府市子ども未来部子ども未来総室子育て支援課子育て支援係(055-237-5674)へご相談下さい。

※申請～貸付までに 2 ヶ月ほどかかりますので、お早めにご相談ください。

[生活福祉資金]

低所得世帯に属する者が高等学校等に就学するのに必要な経費、また、入学に必要な経費を貸与。

〈教育支援費〉（無利子）

高等学校（専修学校高等課程を含む。）

月額 35,000 円以内

〈就学支度費〉（無利子）

500,000 円以内

〈申込期間〉

随時

〈申込先〉

市町村社会福祉協議会

〈返還方法〉

卒業後 6 か月据置で 20 年以内に返還

〈問い合わせ先〉

山梨県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会

○県立学校のホームページについて

山梨県総合教育センターのホームページに、各県立高校、特別支援学校のホームページへのリンクがあります。メニューの「学校・団体へのリンク」をクリックしてください。

山梨県総合教育センター

<http://www.ypec.ed.jp/>

高等学校配置図(令和5年4月1日現在)

※私立高校は全日制課程所在地を示す

